

日本語版 取扱説明書

CS 800S



1200W Professional Stereo Power Amplifier

はじめに

この度は、PEAVEY 社製の CS800S ステレオ・パワーアンプをお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。CS800S は、抜群の耐久性と高性能を兼ね備え、世界のプロ・ステージで 20 年以上の実績を誇る CS800 シリーズの最新バージョンです。CS800S は最新技術の導入により、音質の向上と共に飛躍的な軽量化を達成しています。また入出力ブロックがモジュール化され、オプションで用意されているクロスオーバー入力モジュールやスピコン出力モジュールが、ラックマウントしたままで容易に交換可能です。（新モジュールも追加予定）

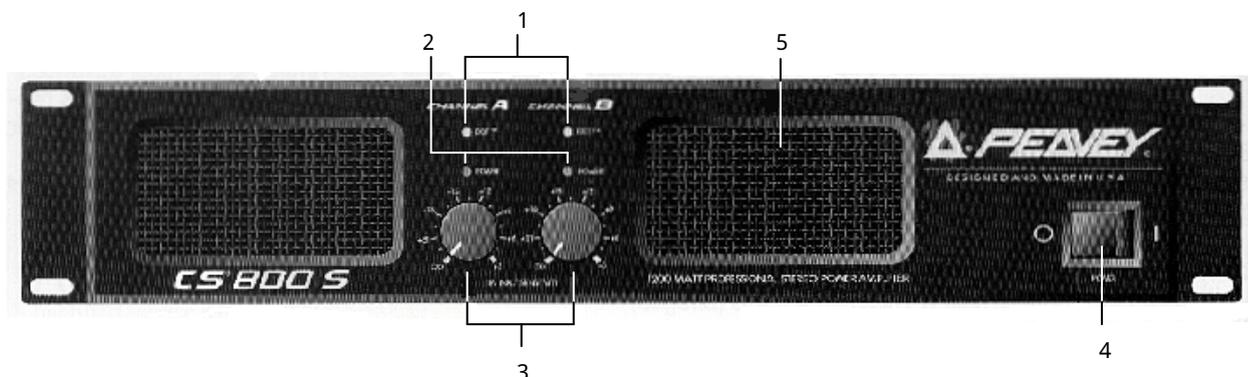
CS800S の性能をフルに発揮させ、未永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取り扱い説明書を必ずお読み下さい。尚、お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

ご使用の前に

1. この取り扱い説明書にしたがって操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧 AC100V, 50/60Hz で御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意下さい。
7. 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
8. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店もしくは輸入代理店までお問い合わせ下さい。

オペレーティング・コントロール

1. フロント・パネル



1. DDT アクティブ・インジケータ

信号レベルがピークに達し、DDT コンプレッション機能が動作したときに点灯します。

DDT コンプレッション機能が働くと、ピークレベルをコンプレッションすることにより、信号のクリップ歪みを抑制します。フィードバックの発生等で DDT が連続的に点灯する状態になると、DDT 有効 / 無効にかかわらず保護回路が働き、負荷が切り離されます。

2. パワー・インジケータ

各チャンネルの回路がウォームアップし、スタンバイ状態になると点灯します。

スピーカーケーブルのトラブルや、過熱等によりチャンネル保護回路が働くと負荷が切り離され、そのチャンネルのインジケータは消灯します。

注意：ブリッジモードで動作している場合、CH-B のインジケータは点灯しません。

3. 入力感度設定ツマミ

時計方向一杯に回した位置で最大のゲインを稼ぐことができます。

ツマミ外周に記されている数字は+dBV 表示で入力感度を表しており、最大で+3dBV になります。表示は厳密なものではありませんが、設定時の目安として有効です。

4. 電源スイッチ

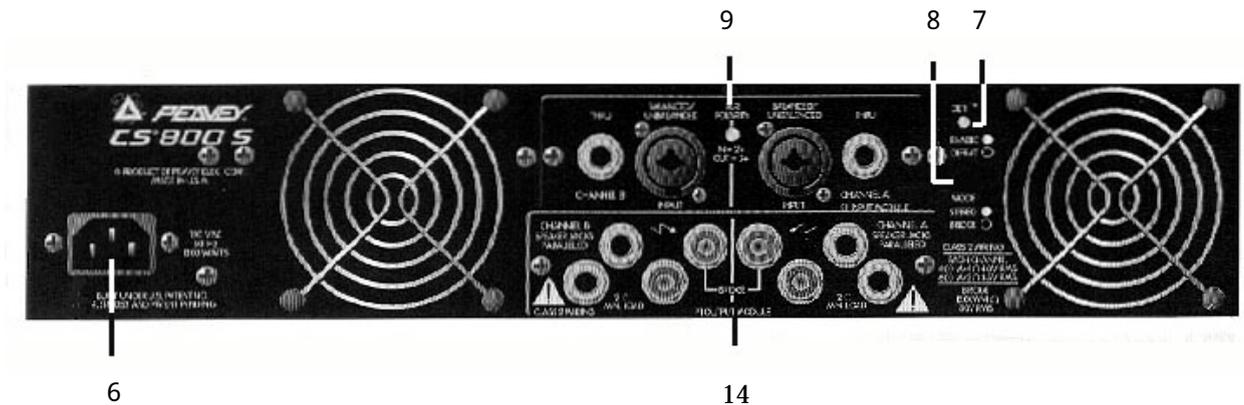
“I”側を押すと電源が入ります。

5. 冷却空気吹き出し口

ヒートシンクを冷却するために取り入れられた空気を排出するためのポートです。

このポートや背面の冷却ファン(取り入れ口)が塞がれたまま稼働した場合、過熱保護機能が働いたり、故障の原因になる場合がありますので、紙屑等で空気の流通が妨げられないように注意して下さい。

11. リア・パネル



6.AC 電源コネクタ

付属のアース付き 3P 電源ケーブルを接続します。

2P 変換プラグを使用する場合、緑色のアース線は極力接地して下さい。また付属のケーブル以外の電源ケーブルを使用する場合は、定格電流容量が 10A 以上の物を使用して下さい。被覆が傷んでいたり容量の小さいケーブルで稼働すると感電や火災の原因になることがあります。

7.DDT コンプレッション・スイッチ

信号のクリップ歪みを抑制する DDT コンプレッション機能の有効 / 無効を選択します。

無効に選択されていても連続クリップ時の保護機能は動作します。

8.モード・スイッチ

ステレオ・モード / ブリッジ・モノラル・モードを選択します。

ブリッジ動作時はノーマル出力モジュールの場合 CH-A の赤色端子が (+) 極、CH-B の赤色端子が (-) 極になります。その時は (-) 極も HOT 端子のため接地することはできません。またそれ以外の端子には一切接続しないで下さい。

スピコン出力モジュールでブリッジ動作させる場合は出力モジュールの配線を組み替える必要があります。(英文取り説又は本体天板の図を参照)

9.標準入力モジュール

プログラム信号を入力する端子です。

標準フォンプラグと 3 極 XLR の両方に対応し、フォン仕様のスルー出力端子も付属しています。

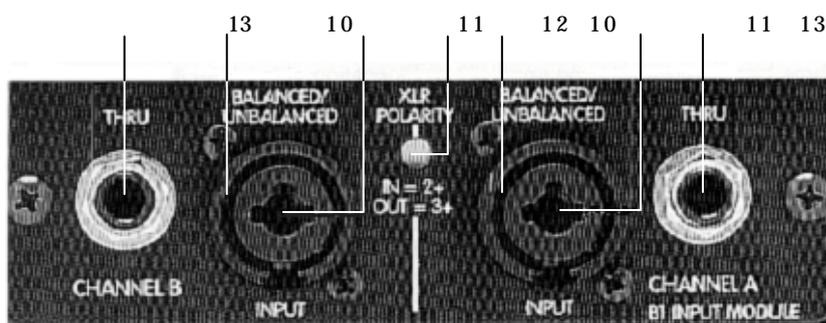
10.XLR 入力端子

3 極 XLR 仕様の信号ケーブルを接続します。

通常は 2HOT ですが、ポラリティー・スイッチで 3HOT に変更することもできます。

入力回路は端子の直後に配置されたローノイズ・デュアル

OP アンプで構成されており、基準入力レベル+3dB バランス / アンバランス入力において高い S/N 比で信号を伝達します。



11. 標準フォン入力端子

XLR と共通の “ combo ” コネクターで、3 極フォン仕様の信号ケーブルを接続します。

ポラリティー・スイッチとは無関係で、TIP-HOT の 3 極 / 2 極に対応します。

12. ポーラリティー・スイッチ

XLR コネクタの極性を選択します。

通常は 2HOT で使用しますが、接続する機器やケーブルの関係で 3HOT の XLR ケーブルを接続する場合に切り替えます。

13. 標準フォン・スルー出力端子

入力信号を別のパワーアンプ等の入力に分配するための出力端子です。

CH-A に入力したモノラル信号を、CH-B に供給してバイアンプ駆動するときなどにも有効です。

14. 標準出力モジュール

標準フォン又はバナナ仕様のスピーカーケーブルを接続するための出力端子です。



14

バラ線にも対応しており、チャンネルごとの負荷インピーダンスが 2 Ω 以上であればフォン出力と合わせて合計 6 台のスピーカーを直結することができます。赤色の (+) 出力端子には高い電圧が発生しますので、感電の危険がないように取り扱って下さい。

CS 800S 仕様

最大出力

ステレオ / パラレルモード

600W+600W RMS(2 ,1kHz)

420W+420W RMS(4 ,1kHz)

260W+260W RMS(8 ,1kHz)

ブリッジ・モノラルモード

1200W RMS(4 ,1kHz)

840W RMS(8 ,1kHz)

周波数特性

10Hz ~ 50kHz

S/N比

100dB 以上

全高調波歪み

0.03%以下(10Hz ~ 20kHz)

ダンピング・ファクター

1000 以上 (4 ,100Hz)

400 以上(4 ,10kHz)

入力感度及び入力インピーダンス

+3dBV,20k

スルーレート

40V/us(ステレオ・モード)

80V/us(ブリッジ・モード)

冷却方式

可変式デュアル DC ファン

最大消費電力

12A(100V)

寸法(W×H×D)、重量

48.3cm×8.9cm×43.2cm、10.5kg